ホームページのセキュリティ強化にともなう 「TLS1.0」および「TLS1.1」の無効化について

インターネット暗号化方式である TLS1.0/1.1 については、リリースされてから長 年経過しており、セキュリティの脆弱性が報告されております。

つきましては、当行ホームページをより安全にご利用いただくため、セキュリティ 強化を目的に TLS1.0/1.1 による暗号化通信を無効化し、よりセキュリティレベルの 高い「TLS1.2」による接続のみとさせていただくことといたしました。

本対応にともない、「TLS1.2」に対応したブラウザをご利用いただくか、ご利用の 機器、ソフトウェアを最新版に更新する等のご対応が必要な場合がございます。

お客さまの情報の安全性を高めるための対応となりますので、何卒ご理解賜ります ようお願い申しあげます。

記

- 1. TLS1.0/1.1 無効化実施日 令和3年12月7日(火)
- 影響のあるページ 当行ホームページのすべてのページ
- 3. 影響のあるご利用環境

スマートフォン・タブレット	パソコン
▶ Android 4.4以前の標準ブラウザ	▶ Internet Explorer 10.0以前
▶ Safari 4 (iOS) 以前の標準ブラウザ	▶ Mac OS X 10.8以前の safari
▶ Google Chrome 29以前	▶ Google Chrome 29以前
▶ Firefox 26以前	▶ Firefox 26以前

4. 対応方法

ブラウザを最新バージョンにアップデート、もしくは「TLS1.2」に対応したブ ラウザをご利用ください。

以 上



「TLS1.2」を有効にするためのブラウザ設定変更方法

●Internet Explorer をご利用の場合

1. Internet Explorer を開き、 [ツール (歯車のマーク)] から、 [インターネ ットオプション]を選択します。



- 「TLS1.2の使用」にチェックを入れます。 2. 「詳細設定」タブを選択し、 インターネット オプション 全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定 設定 ☑ DOM ストレージを有効にする Internet Explorer でアクセスしたサイトにトラッキング拒否要求を送信す POSTの送信がPOSTを許可しないゾーンにリダイレクトされた場合に答 □ SSL 3.0を使用する ✓ TLS 1.0を使用する
 ✓ TLS 1.1の使用 1.2 の使用 1.3 を使用する (試験段階) Windows Defender SmartScreen を有効にする サーバーの証明書失効を確認する。 ダウンロードしたプログラムの署名を確認する ダウンロートしたノロクラムの要領をStates y w ネイティブ XMLHTTP サポートを有効にする ブラウザーを閉じたとき、[Temporary Internet Files] フォルダーを空にする。 詳細設定を復元(R) Internet Explorer の設定をリセット Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。 リセット(S)... ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。 OK キャンセル 適用(A)
- 3. [適用] → [OK] の順にクリックします。
 4. ブラウザを再起動します。
- ●Google Chrome やFirefox 等、Internet Explorer 以外のブラウザをご利用の場合 最新のバージョンをインストールしてください。

●スマートフォン (Android/iOS) をご利用の場合 最新のバージョンをインストールしてください。

※その他設定方法がご不明な場合には、恐れ入りますが各ブラウザの提供元のサイ ト等にて設定方法をご確認ください。